

H.17.1.9 AM 4:50

第2子 次男

3800g

お悠羊

はじめにこの「おぎん」トを先生から「読んでみて」と貸した時「暖かいタイトルだね。それと所も先生の人柄が見えるだね」と思いました。私が康乃先生の所を選んだのは以前ニで「お産した友達の熱いオススXがらでした。中山島さんは、検診から、お産はもちろぬ。入院中、アフターケアまで全てカンペキだよね」とのことでした。一人目は何も着せず何もゆかりず病院で「出産しました。

今回の妊娠がわかった時は単純に「お産は女の事だから二人目は女性の先生に取り上げてほしいな」と思ったので

家族と110110には「今回は中山島さんで産まよ」と伝えました。

母が前の中山島助産院でお産をして私自身が康乃先生に取り上げていただいているので家族は大さんせい。

経過は順調でした。先生はとても繊細な方で「少しでも

心配な事があるとこまめに病院と連絡をしてくださり安心でした。

検診に来るたびに「お産についてのいろいろの話や命の本当の大切さ

などたくさんを穏やかに話しながらとっっっても気持ちの

良いマッサージをしてもらい、すごく身体に良かったと思います。

「久保さんは取っ骨も高いし、37週すぎたらいつでも大丈夫よ」と

言っていたので、一人目も2週間早にお産だったし「きっと今回も...。ウウ」と

しながらその日を持ってました。年末年始で先生の家は忙しかいだろうな

と考えるながらも、出張の多い110110の正月休中にお産したいなーなんて

思っていました。予定日は15日だったので「すか」10ヶ月に入りその頃より

不規則な前駆陣痛が来、「いっせ、いっせ」とドキドキしてました。

でも11つも2時間位で終ってしまうので「まず赤ちゃんのペースがあるしお母さん

いよう」と思っていました。検診に来る車の中で110110で「もしも万が一、お母さんの

赤ちゃんに障害があっても受け入れられるよ。」と話をした時もありましたか

この気持ちにゆれたのも康乃先生に出会ってからです。

マッサージやおきゅうを家でしながらのんびり過ごし年も日月けた1/6の早朝に

お母さんの痛みで目が覚めました。様子をみて、先生に電話をして

とりまえず来たので「すか」2日前に検診で見てもらった時と同じで

「今日は生きたよええにたいがたい。まだ1cmくらいだよ。」との事でした。



先生が「久保さんのお産は今年初めてだし、きっと娘が守ってくれたからと喜んでおめでとうと言ってくださり、私もきっとたねさんが守ってくれたのだと思います。そして二水さんも素晴らしいお産をきくと先生と一緒に千ヨさん、そしてたねさんも守ってくれたと思います。(私はギリギリ、硬水を車の中でしなくてすんだ) 千ヨさんの娘さんと同じ名前だと聞いた私は、初めて自分が良い名前なんだと思いました。オフロの温度を二水さんに気にしたから、やさしく沐浴していただき息子は、とても気持ちよさそうでした。

夜の雪道を館岩から無事のせてくれた父、そして私を中山島助産院で出産してくれた母、そして何事もなくお産ができた体をくれた葛伝身に感謝します。

そして何よりたくさんのお大切なお事に気付かせてくれた康乃先生との千ヨさんとの出会い、中山島助産院に本当に本当に感謝します。

二水からもたくさんのお命が康乃先生、千ヨさんのおかげで生まれるように。お産のお産、不気味な声が続くように体に気をつけてがんばって下さいね。いろいろありがとうございました。

康乃先生、千ヨさん、かわいい孫の成長を心から喜ばせてあげよう。(青森県)

2005年1月13日 久保 久実

※おんたがに先生の手は魔法の手で書いてありますが、まさにその通り。一入目の時は絶望的だった母乳が先生のおっぱい、マサージのおかげで母乳で育てる事が出来そうに思えるようになりました。まだまだ二水さんだけじゃ、母乳ががんばりたいてす。

いぼいぼまらがんで汚くがってしまいました。ごめんねさい。